重要! 営農計画書の記入の際に参考にしてください。

# 平成30年産主食用米等に関する情報

平成30年産から米の生産数量目標の配分は行われませんが、米の需要は年々減少しており、引き続き需要に見合った生産を続けていくことが求められています。

この資料を参考に平成30年産の作付計画を立ててください。

## 作付の方向性

### ◎平成30年産米は29年産と同程度の作付としましょう。

全国的にも超過作付が解消され米価は回復していますが、
全国の需要量は毎年減少しています。 ※岡山県の目安や裏面のグラフをご覧ください。

### ◎主食用米以外の作付により所得を増やしましょう。

水田フル活用の国の交付金は継続されます。

- 飼料用米や麦、大豆等の戦略作物への助成
- 地域振興作物の産地づくり等への助成（産地交付金）など

**各地域で推進している作物の作付をご検討ください。**

### 全　国

平成30年産
主食用米等生産量
**735万トン**
**（対前年比 100%）**

### 岡山県の目安

（県農業再生協議会が平成29年産の国から県への配分方法により算定）

○生産量の目安
**155,172トン（対前年比 100%）**

○作付面積の目安
**29,500ha（対前年比 100%）**
※国が公表する平年単収（526kg/10a）により算定

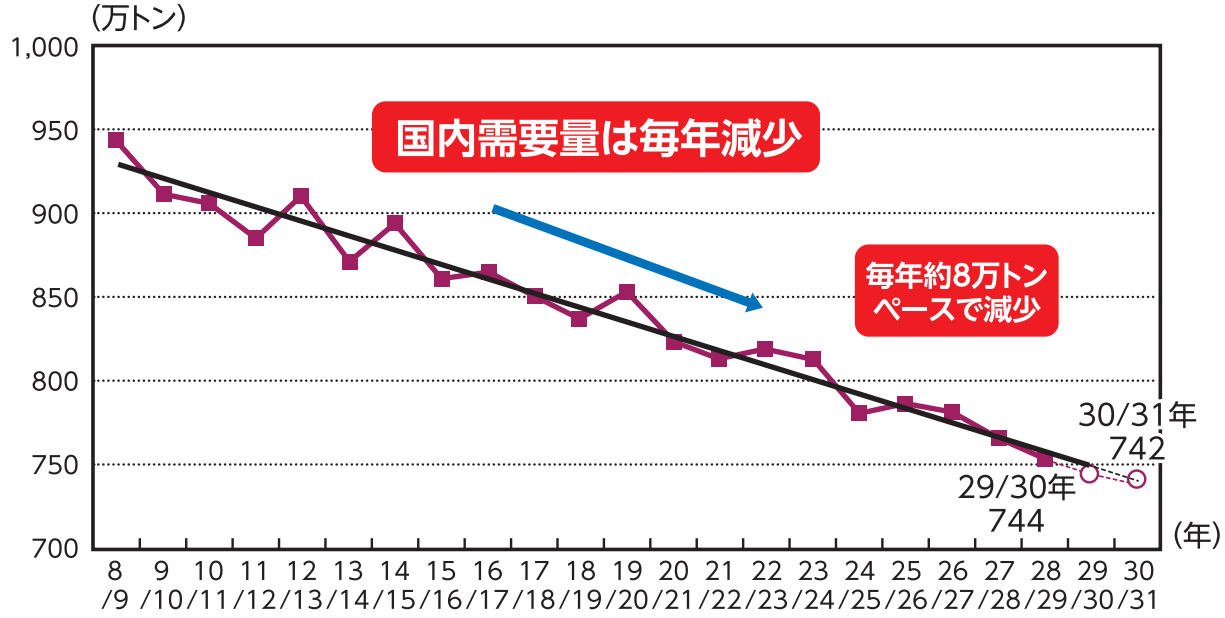
岡山県農業再生協議会では、水田フル活用の推進方針となる「おかやま水田活用方針」を策定しています。
経営計画の参考にしてください。　http://www.o-saisei.net/

（国が提供する米に関する情報）
◎ 米に関するマンスリーレポート(農林水産省)　http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html
◎「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」(農林水産省)　http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/beikoku_sisin/

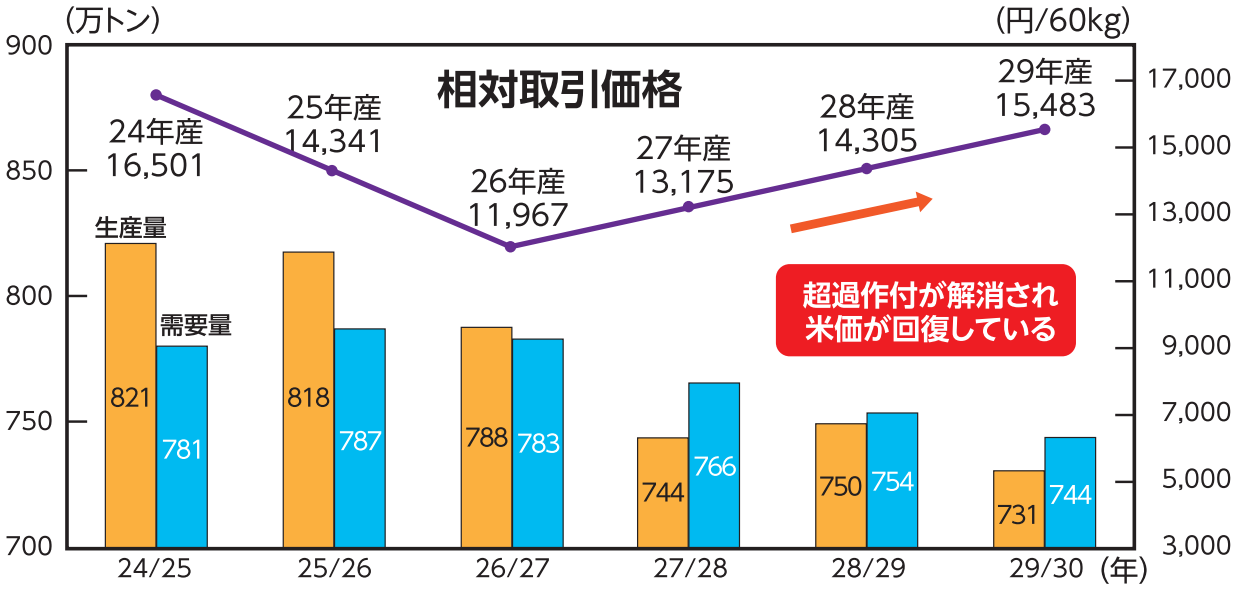
発行：岡山県農業再生協議会

裏面があります

## 1 全国の需要量の推移




## 2 全国の需要量・生産量と米価の関係




## 3 岡山県産米の民間在庫量と米価の関係

